



集落支援員 じゅっちゃんの アロハ ALOHA! 五城目町。



「朝市通りから見える『1階』でみかんをいただく息子(笑)」



「1階づくりは、まちづくり。」

五城目町のみなさま、Alo-ha! 集落支援員の八嶋美恵子です。「五城目町のどこがいいの?」移住してから約3年。これまで、幾度となくこの質問をいただいていたのですが、最近やっと答えを言葉にできるようになりました。

それは「この町で出会う人との日々の交流が、楽しいから」です。逆にいうと「各産品、観光地、制度など、これといった理由があるから」この町を好きになったわけではないのです。(「好きになることに理由はいらない」ですよ(笑))

たとえば、顔見知りの方と会釈、挨拶できた時、ぱったりおしゃべりできた時、ちょっと深い話ができた時、問題が解決していなくても、「ああ、今、しあわせだな」と感じます(笑)

朝起きた時、「今日は誰に会えるかな」とワクワクできるのは、皆さまがいらっしゃるからこそ。これまで皆さまの温かい笑顔や、お心遣いに沢山触れてきたからです。ほんとうに、ありがとうございます。

朝市や商店など暮らしの導線上で、ちょっとした「対話」が自然と起こる環境がたくさん育まれていることが、この町のパワフルな魅力だと、わたしは密かに確信しています。

わたしの好きな本にこんな表現があります。

「人々が必ず目にする『1階』の空間が、どれだけ『ひらけているか』は、その町の人どうしが、お互いのことを『かけがえない大切な存在だ』と感じるかどうかに影響する」

人々がしゃべったり、食べたりしている「暮らしの小さな幸せ」の様子がみえると、「ああ、あの人も同じ人間だな〜」と、お互いへの思いやりや、想像力が生まれるのだそうです。

2月4日は「立春」、旧暦では1年の始まりの時。

今年は、両手を広げたくらいのひろさから始まる、目の前の人との関係性を第一に大切に、自然と「町の1階」が育まれることに、少しでも貢献できたらと思います。

参考:田中元子『マイパブリックとグラウンドレベル』(2017)

五高 NEWS 創立80周年

五城目高校のわだいを定期的にお届けします!



事業所の説明を聞く生徒たち



介護ロボットに試乗!

キャリアガイダンスを実施

～自らの将来を見つめる～

昨年末の12月25日に、体育館で1・2年生合同のキャリアガイダンスを実施しました。県の建設産業活性化センターと本校が協力して準備を進め、8つの事業所から参加いただきました。本キャリアガイダンスは地元就職を推進するために就職希望者が多い高校で実施されています。

当日は、各事業所の担当者が仕事の内容を説明したり、技術や機器などを紹介したりしました。県の担当者からは、「五城目高校の生徒は事業所の担当者の説明を真面目に聞いていて就職について真剣に考えている」というコメントをいただきました。

◆朝野□□(2年生)
説明を聞いて、働く上で大切な能力は「コミュニケーション能力」であることを知り、わからないことはわかるまで聞くことが大切であることを学びました。希望する仕事にさらに興味をもつようになりました。

◆松丸□□(2年生)
介護ロボット(移動カー)に乗ってみて、

思ったより速いと感じました。操作が簡単で大きな力を加えなくても動かせるので、障がいをもつ方や高齢者の方も運転しやすいと思います。

◆伊藤□□□(1年生)
介護福祉施設の説明を聞いて、入所者の方への目線や言葉遣いがとても大切であることを知り、介護福祉の仕事に興味をもちました。また、高校の時にがんばって身に付けたことは社会に出ても役立つことがわかりました。

今後の予定

2月 7日(水)	キャリアアップ集会
2月22日(水)~28日(水)	学年末考査(1、2年生)
2月29日(水)	卒業式準備・予行表彰式、同窓会入会式
3月 1日(金)	卒業証書授与式

五城目高校ホームページ: <http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/>

輝け! 五城目びと

町のみんなに 自慢の演奏を届けたい!

五城目 ハーモニカ同好会



現在は、毎月第2・4木曜日に大川地区公民館で練習を行っています。

大川地区公民館事業として始まった「ハーモニカ教室」が平成20年に終了したことに伴い、同年4月から会員15名で「五城目ハーモニカ同好会」が発足しました。2年後には町芸術文化協会に加入し、以降は、町産業文化祭の「芸能発表会」をはじめとした各イベントに積極的に参加し演奏を披露してきました。昨年6月には大川地区公民館で15周年記念コンサートをを行うなど、精力的に活動を続けています。

現在は、男性5名/女性7名の計12名の会員が毎月第2・4木曜日に大川地区公民館で練習を行っており、同会の活動は、ハーモニカの技術向上のみならず会員同士の親睦の場としても機能しています。普段は、季節に合った童謡や

唱歌、ヒット歌謡曲などを練習しており、活動を継続するうちにたくさんのレパートリーができたそうです。

そんな五城目ハーモニカ同好会ですが、現在は会員数の微減に伴い、パートごとの割り振りが難しくなり、魅力的なハーモニー演奏ができないなど苦勞する面もあるとのこと。興味のある未経験者と、低音を担う「バス奏者」を募集中だそうです。

代表の栗山□□さん(矢場崎)は、「経験がなくても、継続することで技術は向上していきます。少しでも興味のある人はぜひ「五城目ハーモニカ同好会」に入って一緒に発表会や演奏会を楽しみましょう」と話していました。

ごじょうめの 文芸

「短歌」
三年目となりし連記の日記帳
新年に「孫の祝い」と記せり 岡本 大石 政子
雪降りぬサントが来そうなイブの日に
友と二人でケーキ楽しむ 西磯ノ目 小玉 明子
卯年去り謹賀新年良い年に
椿の切り絵玄閑に置く 古川町 小濱 キエ
「俳句」
杉玉の吊られし蔵やチエロ音色 高崎 館岡 絢
傾きしバケツに溜まる水面鏡
旧友のやさしき受けし年賀状 八田 伊藤 豊子 絢
柄杓引く余寒の音の一服よ 寺庭 石井 テツ
「一川 柳」
ラジオから流れる歌が懐かしい 畑町 本間 恵子
淋しさも涙も包み込む夕日 下山内 石井 風香
何時の日も心のゆとりたやさない 新町 大原美どり
八郎瀉町 桜庭 湖風
賞味期限切れても気力なら負けぬ 新畑町 渡辺 松風